

2017年度第3回阪神競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 戒橋特別

戒橋（えびすばし）は、大阪市中部、道頓堀川にかかる橋のひとつ。江戸時代に、今宮戎神社への参道として町人たちの手で作られた町橋として有名。

○ 三木特別

三木（みき）は、兵庫県南部の市。室町時代には別所氏の城下町として栄えた。江戸時代から金物業が発達し、大工道具や園芸用具などの製造が盛ん。また、同市は馬事施設やキャンプ場等を併設する三木ホースランドパークの所在地でもある。

○ 農林水産省賞典鳴尾記念（GⅢ）

本競走は、昭和26年に創設された重賞競走。創設当初は春・秋の年2回実施されていたが、29年から現行の年1回となった。平成24年より夏季競馬の中距離競走の充実を図るため、実施時期を12月から6月に移し、距離も2000mに変更されている。

競走名は、明治40年に関西競馬倶楽部が兵庫県武庫郡鳴尾村に建設した「鳴尾競馬場」に由来する。昭和18年、太平洋戦争の激化に伴い海軍に徴用されたことで、同競馬場は幕を下ろしたが、現在も武庫川女子大学の浜甲子園キャンパス内にスタンドの一部が残っている。

<第2日>

○ 鶴橋特別

鶴橋（つるはし）は、大阪市生野区の地名。名は、かつて多くのツルが集まったとされる日本最古の橋「つるのはし」に由来するといわれている。同橋は平野川改修の際に取り壊され、現在は跡地として保存されている。

○ 洲本特別

洲本（すもと）は、兵庫県淡路島中央部に位置する市。名は、洲本川河口に発達した砂州の基部に位置したことに由来するといわれている。中心市街は、江戸時代初期以降に蜂須賀藩の家老稲田氏6万石の城下町兼漁港として栄えた。水産物加工が盛んで、イカナゴの釘煮、ちりめんじゃこなどが名産品である。

○ グリーンステークス

グリーン（Green）は、英語で緑色、青々とした草地、草原、芝などの意味。緑色は競馬場の木々や芝コースなどをイメージすることから、JRA のシンボルカラーとなっている。

<第3日>

○ 生田特別

生田（いくた）は、神戸市中央区の地名。名は、同地にある生田神社に由来する。生田神社は、稚日女尊（わかひるめのみこと）を祭神とする旧官幣中社。社地内には深い森があり、源平時代の合戦の舞台となった歴史を持つ。

○ 舞子特別

舞子（まいこ）は、神戸市垂水区の地名。一帯は明石海峡に臨む浜辺で、淡路島を一望できる。古来より保養地として知られており、夏には多くの海水浴客で賑わう。

○ 安芸ステークス

安芸（あき）は、山陽道にあった旧国名のひとつで、現在の広島県西半分にあたる。古くは「阿岐」と書いた。日本三景のひとつである「安芸の宮島」が有名。

<第4日>

○ 三田特別

三田（さんだ）は、兵庫県南東部の三田盆地にある市。名は、名刹・金心寺の弥勒菩薩像の胎内に「当地一帯を松山の庄と号す。これを金心寺恩田、悲田、敬田の三福田を以って三田と改む」と記されていたことに由来するとされ、現在は阪神間のベッドタウンとして発展している。

○ 加古川特別

加古川（かこがわ）は、兵庫県中南部を流れる川。延長 96 k m。上流は佐治川の名で呼ばれ、高砂市と加古川市との境をなしており、播磨灘に注いでいる。また、兵庫県南部加古川の下流にある市。同市は、日本有数の靴下の生産地として知られている。

○ マーメイドステークス（GⅢ）

本競走は、平成 8 年に創設された牝馬限定の重賞競走。創設時より 3 歳以上、距離 2000 m で実施されている。当初は別定重量で行われていたが、18 年よりハンデキャップ競走となった。

マーメイド (Mermaid) は、上半身が人で下半身が魚の伝説上の生き物である「人魚」を意味する英語。

<第 5 日>

○ 小豆島特別

小豆島 (しょうどしま) は、高松市の沖合に浮かぶ島。瀬戸内海では淡路島に次いで大きい。日本で初めてオリーブの栽培に成功し、別名「オリーブ・アイランド」とも呼ばれる。

○ 水無月ステークス

水無月 (みなづき) は、陰暦 6 月の異称。この時期は、青葉の茂る季節であることから「青水無月」とも呼ばれる。

○ 天保山ステークス

天保山 (てんぼうざん) は、大阪市港区にある標高 4.5m の人工山。天保 2 年 (1831) におこなわれた安治川河口浚渫工事の際、土砂を盛り上げて築かれた。

<第 6 日>

○ 箕面特別

箕面 (みのお) は、大阪府北西部の市。箕面山を中心とした箕面川の渓谷一帯が明治の森箕面国定公園に指定されており、紅葉の時は多くの観光客で賑わう。国定公園内にある箕面滝は落差 33m で、その流れ落ちる様が農具の「箕」に似ていることから名付けられた。

○ 灘ステークス

灘 (なだ) は、兵庫県南東部、武庫川から生田川にかけての大阪湾岸地域の総称。摂津灘とも呼ばれる。西宮市から神戸市にまたがっており、阪神間有数の住宅街となっている。酒造地としても有名。

○ 米子ステーキス

米子（よなご）は、鳥取県西部の市。農業、漁業が盛んで、白ねぎ・二十世紀梨・岩ガキ・松葉ガニなど特産品が豊富。

なお、同市には JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ米子がある。

<第7日>

○ 出石特別

出石（いずし）は、兵庫県豊岡市の地名。江戸時代から残る街並みは「但馬の小京都」と呼ばれている。白磁の出石焼やその小皿に盛られた出石皿そばが名産。

○ 京橋特別

京橋（きょうばし）は、寝屋川に架かる大阪市中央区と都島区を結ぶ橋。また、その付近一帯のこと。京橋駅は JR・京阪電鉄・市営地下鉄長堀鶴見緑地線が接続するターミナル駅となっており、近隣にはオフィスやホテル、ホールなどが集積する大阪ビジネスパークがある。

○ 垂水ステーキス

垂水（たるみ）は、神戸市南西部の区。名は、垂れ水（滝）の滴りが尽きなかった場所があったことに由来するといわれている。海苔の生産地としても有名。

<第8日>

○ 城崎特別

城崎（きのさき）は、兵庫県豊岡市にある山陰海岸に面した温泉地。志賀直哉の小説『城の崎にて』の舞台にもなった。周辺には温泉寺や玄武洞などの名勝がある。

○ 皆生特別

皆生（かいけ）は、鳥取県米子市にある温泉地。同地域は 1981 年に日本初のトライアスロン大会が開催されたことから、日本における「トライアスロンの聖地」としても知られる。

○ 花のみちステーキス

花のみちは、阪急宝塚駅から宝塚大劇場に向う通り道。宝塚を象徴する道として宝塚歌劇ファンや宝塚市民に親しまれている。

○ 宝塚記念（G I）

本競走は、昭和 35 年に創設された重賞競走。当初は 3 歳以上 1800m で実施されていたが、翌 36 年に 2000m となり、41 年から現行の 2200m となった。43 年以降は 4 歳以上となったが、62 年に再び 3 歳馬にも出走資格が与えられた。年末に中山競馬場で行われる『有馬記念』と同様、ファン投票によって出走馬が選定され、上半期の G I 戦線を締めくくる一戦として定着している。また、「ブリーダーズカップチャレンジ」の対象競走であり、優勝馬には米国で行われる『ブリーダーズカップターフ（G 1）』の優先出走権が与えられる。

宝塚（たからづか）は、兵庫県南東部の市。同市は阪神競馬場の所在地でもある。

○ リボン賞

リボン（Ribbon）は、紐状の織物のこと。勲章として用いられる他、衣服・帽子・頭髪や贈り物の装飾として結んだ形で使われることが多く、本競走は上半期を締めくくる意味で第 3 回阪神競馬最終日最終競走に実施される。